



土岐謙次 『七宝紋胎乾漆透器』個人蔵



乾 漆 展

KANSHITSU

東京国立近代美術館工芸館名品展連携事業
金沢卯辰山工芸工房 平成29年度特別展

平成29年

10月7日(土)～11月20日(月)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) [火曜休館]

金沢卯辰山工芸工房 本館2階展示室

入館料

- 一般 300円(団体 250円※20名以上)
- 65歳以上 200円 ● 高校生以下無料

主催/金沢卯辰山工芸工房、東京国立近代美術館工芸館名品展開催実行委員会
特別協力/東京国立近代美術館 後援/北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川
21世紀鷹峯フォーラム 第三回in石川・金沢 関連事業

東京国立近代美術館工芸館名品展(平成29年度)
「陶磁いろいろ」 11月11日(土)～12月17日(日) 於:石川県立美術館

乾漆展

KANSHITSU

東京国立近代美術館工芸館名品展連携事業
金沢卯辰山工芸工房 平成29年度特別展

1300年の時を超えて伝わる 技と美の広がり

乾漆(かんしつ)とは、粘土や石膏などの原型に、漆を接着剤として麻布を貼り重ね、型を抜いて造形物とする漆工技法です。7世紀に中国から伝承され、奈良時代には伎楽面や仏像彫刻などに用いられました。興福寺の阿修羅像を含む国宝「乾漆八部衆立像」は、現在もその形を残し、その芸術性と技術の高さを知ることができます。近年、漆芸家たちは乾漆技法を用い、器や手箱、彫刻に至るまで、その技術と表現を練磨してきました。本展では現代の乾漆作品とともに、八部衆立像の中から、当時の技法を用いて再現した「乾闥婆像」の復元作品を展示します。天平時代から伝わる技と美の広がりをご覧ください。

出品作家

伊能一三・大西長利・奥出寿泉・小柳真弓・柿田喜則・鎌田克慈・古伏脇司・笹井史恵・塩多慶四郎・鈴木祥子・田中知行・土岐謙次・林暁・増村紀一郎・増村益城(50音順、敬称略)

関連プログラム(予約不要、参加には入館料が必要)

●スペシャルトーク／10月28日(土) 13:30～14:30

東京国立近代美術館 工芸課長 唐澤昌宏氏による作品解説



●映像上映／会期中随時

工芸技術記録映画「髹漆 増村紀一郎のわざ」(文化庁企画・桜映画社製作) 45分

●乾漆技法の説明と実演／11月11日(土) 13:30～15:15

上記記録映画鑑賞後、漆芸工房専門員による作品解説と実演

- ① 増村益城『乾漆流水文盛器』東京国立近代美術館蔵 photo:アローアートワークス
 ② 塩多慶四郎『乾漆合子「陽洋」』石川県輪島漆芸美術館蔵
 ③ 大西長利『乾漆の器「大地」』東京国立近代美術館蔵 photo:アローアートワークス
 ④ 林暁『乾漆呂色塗合子「蝶」』個人蔵 photo:アローアートワークス
 ⑤ 田中知行『Imaginary Skin II』個人蔵 photo:山本 紉
 ⑥ 古伏脇司『乾漆車箱04-03』東京国立近代美術館蔵 photo:アローアートワークス

金沢卯辰山工芸工房

Kanazawa Utatsuyama Kogei Kobo

〒920-0832 金沢市卯辰町10番地 TEL076(251)7286 FAX076(251)9113

<http://www.utatsu-kogei.gr.jp>

<https://www.facebook.com/kanazawa.utatsuyama.kogei.kobo>



Wi-Fi 使えます



SSID: Kanazawa_Free-Wi-Fi

交通アクセス

列車/金沢駅下車

バス/金沢駅バスのりば90番路線、望湖台下車、徒歩7分

タクシー/金沢駅より約10分

自動車/北陸自動車道、金沢東ICより約15分



①



②



③



④



⑤



⑥